

令和４年 湖西市議会６月定例会

市 長 あ い さ つ

令和４年６月７日

皆様、おはようございます。

本日から令和4年6月湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

6月に入り、梅雨のシーズンを迎えました。先月、5月27日には、土砂災害警戒情報の発表により、市内の972世帯に対し、避難指示を発令しました。幸い、人的な被害はなく、倒木7件、冠水1件という状況でした。

（新型コロナウイルス対策等）

新型コロナウイルス関連につきましては、感染対策は継続しつつ、ウィズコロナ、アフターコロナとして、社会経済活動を行っていかねばなりません。5月9日には、湖西市公式LINEでクーポンを配布させて頂き、6月5日時点で、約9,200件、割引額約700万円、消費額としては、最低でも1,420万円以上の経済効果と、多くの皆さんにご利用いただいているところです。6月12日まで、あと6日ほどありますので、市内の飲食店で、さらに多くの方にご利用いただき、地域経済の活性化を図っていきたいと思います。

また、4回目のワクチン追加接種も始まります。60歳以上の方や60歳未満で基礎疾患のある方を対象に、順次接種券をお送りさせていただいているところです。医療関係者等の方々には、連日、PCR検査や集団・個別接種にご協力いただいております。改めて感謝申し上げます。湖西病院も、新たに大貫ドクターが院長となり、持ち前の明るさと行動力を活かして、早速、浜松医療センターや浜松医大、市内医療機関等とのさらなる連携強化に、前向きに取り組んでいただいています。地域包括ケアや病病連携、総合診療医をはじめとして、地域医療の充実、医師や看護師の確保、経営改善など、一体として継続的に取り組んでまいります。

（市制50周年、こさいの日）

5月14日には、市議会の皆様にも多くのご参加をいただき、市制施行50周年記念式典を挙行了しました。オープニングには、新居高校書道部・湖西高校三味線部の皆さんに素晴らしいパフォーマンスをご披露いただきました。また「みらいのこさい」作文コンクール最優秀賞の岡崎小・本村美陽さんによる「ゆたかな自然と、助け合いのまち」の発表は、未来に向けて、夢のある、大変立派な発表でした。

式典の締めには、未来の湖西市を背負う高校生の皆さんと一緒に、5月

31日をこさいの日とする「こさいの日」宣言を行い、先月末、初めての「こさいの日」には、トヨタ自動車や市内の浜名湖電装、プライムアースEVエナジーなどから100名規模のご協力をいただき、『君の可能性は無限大！』をテーマに、市内の中学3年生・約500人を対象とした「特別授業」を行いました。トヨタの東崇徳・総務人事本部長から「トヨタの多様なチャレンジと、将来を担う皆さんへの期待」と題し、夢を持つ大切さをご講演いただいた後、「モノづくり体験ブース」「車両展示・乗車ブース」「アスリート交流ブース」の3つに分かれ、順次、様々な体験や交流をしていただきました。トヨタ工業学園の高校生の皆さんに教えてもらいながらのモノづくり体験やVR、GRヤリスやC+walkといった次世代モビリティへの試乗、オリンピック・パラリンピアン、メダリスト、アスリートとの体験・交流など、大変盛り沢山で、コロナ禍で長らくこういったイベントが出来ていなかったこともあり、皆さん大変良い笑顔でした。最先端の技術などに触れながら、自分の可能性を信じてチャレンジする精神を学び、大変貴重な体験が出来たと思います。今後も、「こさいの日」を、豊田佐吉翁をはじめとする先人の心を受け継ぎ、未来へ続くふるさと「こさい」を、誰もが愛着を持てるまちにするよう、継続していきたいと考えています。

このほかにも、50周年記念事業として、5月21日に「大知波桜」の記念植樹を、今川沿いにおいて、市民からのアイデア事業として、大知波桜を守る会の皆さんを中心に、知波田小の子どもたちと一緒にを行いました。同様に市民からのアイデア事業として、マインクラフトグランプリも、未来の車コンテストなど、開催中です。また「ご当地グルメプロジェクト」なども、実行委員会やプロジェクトチームにより進行中。さらに8月には、「おいでん祭」をボートレース浜名湖に会場を変更し、3年振りに開催いたします。このように、イベント等も感染対策のうえで開催し、50周年を契機に、さらに湖西市が元気になるような、市民の皆さんに明るい話題を提供し、社会経済活動を取り戻し、地域の活性化、「職住近接」に努めてまいります。

（「職住近接」新規・継続事業等）

さて、本年度も2か月が過ぎ、持続可能な発展のため「職住近接」を推進しております。令和4年度に新たに予定している事業等につきまして、いくつかご説明させていただきます。

①まず、人口減少対策、移住・定住促進のための住環境については、畜

産臭気対策が、従来から大きなテーマです。昨年度、初めて、すべての養豚場での臭気測定調査を行った結果を参考にしながら、さらには県の中小家畜研究センターや民間事業者などとも連携し、今年度は継続的な測定や、次亜塩素酸などの活用による新たな脱臭・臭気の外部への拡散防止の実証実験を新たな事業所にも展開し、各養豚場からの臭気発生の抑制と、経営の両立を図ってまいります。

②子育て・教育の充実に関しては、4月から「育ちの応援ステーション」をスタートしました。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援と、ワンストップ相談窓口の充実を図るとともに、発達に課題のある児童への支援についてもさらに力を入れてまいります。また、保育の受け皿整備の次のステップとして、放課後児童クラブを増設し、岡崎小学校区の増設工事と、新居小学校区の設計等を行っています。

3月には「学校教育施設適正化検討委員会」から望ましい教育環境や望ましい適正配置について報告書をいただきました。子どもたちにとって、最適な教育環境を第一に考え、今後の学校の在り方について、「これからの小・中学校についての意見交換会」を、5月25日から5つの中学校区ごとに意見交換を行っています。地域のコミュニティ機能などに関しても、市民の皆さんの意見も参考に、早期に学校等再編の方向性を決定し、望ましい教育環境を実現してまいります。

③モノづくり人材育成、産業ネットワークの構築につきましては、モノづくり推進室が職業訓練センターに移転し、企業との連携を強化し、市内企業の情報発信強化や、市内の高校と豊橋技科大などとの連携を強化することにより、湖西市のモノづくり技術の素晴らしさを発信したり、地元企業への就職に繋げる取組を、開始しています。地道な中長期での取組ですが、未来に向かって、大きく花開くことを期待して、取り組みます。

カーボンニュートラル、湖西市版ゼロカーボンシティの実現に向けては、省エネルギー化に向けた診断・分析を行う中小企業への支援を開始いたしました。今後は診断に基づき、具体的な設備投資等の改善について、企業や金融機関等とも連携して、取り組みます。再生可能エネルギーの普及促進や、先日の遠州信用金庫さんからの次世代自動車の寄贈をはじめとする行政におけるゼロカーボン化も着実に推進し、CO2排出量削減を、進めてまいります。

④土地利活用の一体的推進においては、4月27日に、浜名湖西岸土地区画整理事業地区内で行われた安全祈願祭において、「KOSAI Battery Park」

と命名いただきました。来年7月に一部操業を開始する、次世代の車載用電池の一大生産拠点、マザー工場として、湖西市のモノづくりがさらにグローバルに展開されるよう、着実に取り組んでまいります。

さらには企業等からの相談窓口を、都市整備部都市計画課に一元化させていただきました。浜松湖西豊橋道路のインターチェンジ周辺の一体的開発、新たな商業・工業用地などのニーズに対応するための開発可能性調査の継続的な実施、宅地開発を促進するための土地提供者や開発事業者への奨励金（インセンティブ）制度を、引き続き進めてまいります。

⑤防災関連においては、命を守る、津波避難タワーや命山の整備を完了しました。次のステップとして、お家や工場など、財産面における津波災害の防止・軽減を目的とし、立地適正化計画におけるシミュレーションに基づく、防潮堤等のあり方の検討と計画を、市民の皆さんと一緒に考えていきます。

⑥文化振興につきましては、5月15日に、春季芸能の祭典が、3年ぶりに開催され、久々に、多くの方の笑顔を見ることができました。現在、新居地域センターのバリアフリー化等の設計を行っており、文化協会など利用者の皆様のご意見を極力、反映させていただきました。改修工事において、ダンスや詩吟はじめ、日頃の練習の成果を発揮できる施設となるよう、舞台やステップ、スロープ等、各施設の使い勝手を良くし、文化の香るまちづくりに、取り組みます。

観光振興においては、新居弁天地域の一体的再開発や、新型コロナの影響から延期となっていた「浜名湖キューバ・ヘミングウェイカップ」を7月に開催する予定です。ヘミングウェイカップと合わせ、ミナトリングやマルシェなど、地域の賑わいを生み、継続する事業を、天竜浜名湖鉄道などともコラボのうえ、計画しています。

これまでも繰り返し申し上げている通り、「職住近接」の実現のためには、短期・単年度のみでなく、中・長期的な取組が必要です。①安全・安心、医療福祉、②子育て・教育の充実、③産業振興、④観光・シティプロモーション、の4本柱はもちろん、

・モノづくり人材育成・産業ネットワークの構築、ゼロカーボンシティの実現

・土地利活用の一体的推進

のため、ウィズコロナ・アフターコロナにおいて、不断の取組を進めてま

いります。

さて、本定例会に提案させていただきます案件は、補正予算など、合計13件でございます。皆様方におかれましては、引き続き、湖西市の「職住近接」の推進に向け、建設的かつ前向きなご提案やご議論を改めてお願いし、私のごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

(以 上)